

伊達市里山再生モデル事業の概要

モデル事業の目的

- 自然道の利用者や地域住民の安心・安全に向けた環境づくり
- 事業成果について原子力災害を受けた里山の再生に寄与

モデル地区概要

- モデル地区：雨乞山（伊達市保原町大字富沢字雨乞地内）
- 区域面積：約95haうち森林約76ha（民有林（財産区有林））

事業の内容

除染（R1年度）

- 雨乞山登山口の富成花見山公園東屋と同広場、岩下登山口、雷神神社、山頂広場の5箇所約560㎡について、下草及び雑木除去、堆積有機物残さ除去を行いました。



除染実施前



除染実施後

森林整備（H28～R1年度）

- 広葉樹林の更新伐（伐採率24%、33.3ha）、アカマツ林の間伐（間伐率33%、1.16ha）丸太筋工の設置（1,350.2m）などを実施しました。



実施前



実施後

線量測定（H29～R2年度）

- H29からR2にかけてモデル地区内の空間線量率を毎年測定しました。（メッシュ測定：56（メッシュ数）、遊歩道等の歩行サーベイ：5,138m 等）
- 空間線量率の測定にあわせて個人被ばく線量を測定しました。

<モデル地区の概況図>



伊達市モデル事業の結果

除染の結果

○空間線量率（高さ1 m）の平均値（単位：μSv/h）

	除染前	除染後	低減率 (物理学的 減衰率)
	H28年9月	R2年3月	
①	0.29	0.18	38% (27%)
②	0.52	0.30	42% (27%)
③	0.84	0.34	60% (27%)
④	0.42	0.22	48% (27%)
⑤	0.54	0.29	46% (27%)
平均	0.52	0.27	48% (27%)

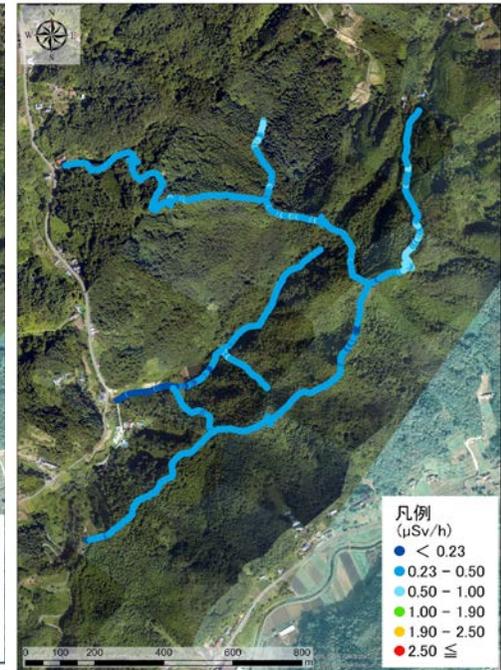
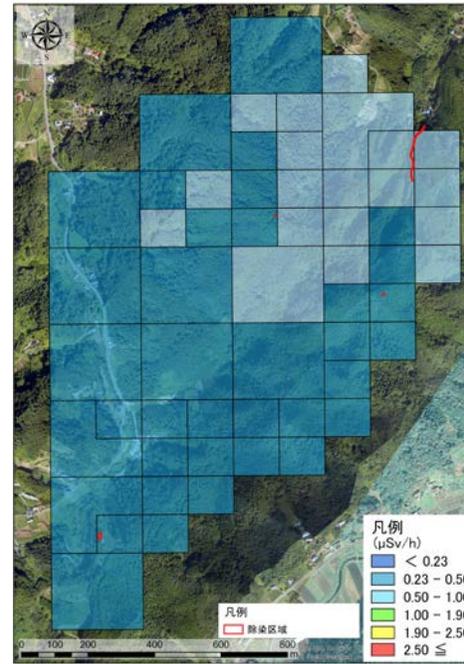


線量測定の結果

※空間線量率は実測値を基にR2年8月1日を基準日として算出

【メッシュ測定】
地区平均(地上1m)は0.48 μSv/h、
最大値は0.73 μSv/h、
最小値は0.36 μSv/h でした。

【歩行サーベイ】
平均は0.36 μSv/h、最大値は0.77
μSv/h、最小値は0.12 μSv/h でした。



【個人被ばく線量】

R 1年度に市役所へのヒアリングを行い、想定される利用形態（滞在時間203分）を設定し、個人被ばく線量を測定しました。その結果、1回の利用に伴う個人被ばく線量は、0.001mSv (0.1μSv) でした。

※胸部X線検査1回あたりの被ばく線量は0.06mSv (60μSv)

森林整備の結果

- 間伐等の森林整備により、地表面に光が届くようになり、植物が生い茂り、表土の流出が抑制されました。また、根が土壌を保持する力が向上することによって、水源涵養機能、山地災害防止機能等の発揮も期待されます。
- 丸太筋工の設置によって土壌の安定が図られ、放射性物質を含む土壌の流出を抑制する効果が期待されます。
- 間伐等により雷神神社周辺の環境が整備され、安全・安心に散策できる空間に変化しました。また、伐採木の一部について搬出し、販売しました。
- 今回の森林整備によって延べ1,245人日の雇用が生まれ、林業活動の継続が図られました。

モデル事業の効果

- 除染によって線量が低くなったことなどにより、自然道の利用者や地域住民の安心・安全に向けた環境づくりに寄与したと考えられます。
- 除染と森林整備を一体的に実施することにより、快適な森林空間を創出し里山の再生に寄与したと考えられます。